

単
元
名

方言と共通語

教科書出版社名（光村図書）

○ 中学校（ 2 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

・共通語とふるさとに受け継がれてきた方言の良さを知り、方言の特徴・役割について考える。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

・地域による言葉の違いや成り立ちを調べ、自分たちの言葉について考える。

○ 学校図書館等活用のポイント

・さまざまな資料を活用し、方言と共通語のそれぞれの役割や特徴を調べたことをもとに説明する。

○ 学習の展開（全4時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	・自分たちの地域で使われている方言や分布図を見て、その語の傾向を話し合い、教材文を読んで方言と共通語について考える。
第2次（☆）	・方言に関する本を読む。 ・さまざまな資料を活用して、自分の興味のある地域の方言を調べる。 ・情報カードに要約する。
第3次	・情報を取捨選択し、ワークシートに選んだ地域の方言をまとめ、「方言辞典」を作成する。
第4次	・作成した「方言辞典」をもとに、プレゼンテーションを行い、共有する。 ・方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について意見を交流する。

(本時4 / 4時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
作成した「方言辞典」をもとに、方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について考える。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について意見を交流する</div>	
25	2. 作成した「方言辞典」を発表資料として提示し、調べたことを発表する。 ・内容を組み立て、展開を考える。 ・相手の表情を見る等、相手を意識する。 ・相互評価用のワークシートに記入する。	・作成した「方言辞典」や本を提示しながら、調べた中から根拠をもとに伝えたいことや、自分の考えを発表する。
15	3. プレゼンテーションに対し質問タイムを設け、意見交流を行う。 ・質問し、答える、それに対し更なる質問をする等の対話を行う。	・発表から意見交流、対話が生まれるように、どのような発問をすれば、発表が広がるかを考えさせる。
5	4. ふりかえる。	

図書館活用
ポイント

